

2日目 2021 WHO世界患者安全の日 妊産婦安全推進シンポジウム

スローガン

妊産婦安全に 更なるチームの力を!



オンライン開催
[Zoomウェビナー]

2021年 **9/20** (月・祝) **13:00** - **17:00**

ライブ配信および
録画オンデマンド配信
配信期間: 2週間程度(予定)

参加費 日本周産期・新生児医学会会員 / 医療の質・安全学会会員 1,100円
※専門医単位認定を申請中です。 非会員 2,200円

世界患者安全の日2021年のテーマは、『安全な妊産婦・新生児医療』です。そこで2日目は、WHOから日本の皆さんへのメッセージに始まり、世界の周産期医療の現状について学びます。国内の関係者が広く集い、すでに世界トップレベルに達している日本における妊産婦安全に係る残された課題について理解を深め、医療による害のない世界の実現に向け、更なる改善をめざし意見を出し合います。今回の取り組みは妊産婦安全共同プロジェクトの一環として行われ、本年度中に様々な取り組みを実施してゆきます。

開会挨拶 医療の質・安全学会 副理事長 藤田医科大学病院医療の質管理室 教授 **安田 あゆ子**

第1部 13:10-15:30

講演 「WHOから日本の皆さんへメッセージ」

1 世界保健機関 担当者

講演 国際比較でみた「周産期医療」と患者安全の課題:変わろうとするアフリカからわかること

2 株式会社・国際テクノ・センター顧問・国際開発コンサルタント 半田 祐二郎

講演 日本の妊産婦医療の歴史・現状・課題(仮)

3 三重大学医学部産科婦人科学 教授 池田 智明

講演 周産期母体を守るために～急変の感知と迅速な対応

4 京都府立医科大学救急医療学教室 講師 山畑 佳篤

講演 妊産婦脳卒中の現状と課題

5 京都大学大学院医学研究科脳神経外科 准教授 吉田 和道

講演 周産期チームを活かす組織における心理的安全性

6 近畿大学病院 安全管理部・医療安全対策室 室長・教授 辰巳 陽一

第2部 15:40-16:55 パネルディスカッション

分娩の更なる安全の向上に向けて:日本の残された課題と解決策は?

オーガナイザー **安田 あゆ子**

パネリスト: 演者、その他

閉会挨拶 医療の質・安全学会 理事長 京都大学医学部附属病院 医療安全管理部 部長・教授 **松村 由美**

主催



一般社団法人
医療の質・安全学会
Japanese Society for Quality and Safety in Healthcare

共催 日本周産期・新生児医学会

企画 妊産婦安全共同プロジェクト